

注目のデュオ、初来日

J.S.バッハ  
ヴァイオリンと  
チェンバロのためのソナタ

第二番 イ長調 BWV1015 / 第四番 ハ短調 BWV1017  
J.J.フローベルガー いつか来たる自らの死への瞑想 他

バロック・ヴァイオリン

チェンバロ

中丸まどか

ワウター・ドウコーニク

チケット【全席指定】：¥3,900 (税込) / ペア券 ¥7,000 (ヴィアガレリアWEB限定販売：振込のみ)

2019年3月6日[水]

すみだトリフォニー 小ホール

開場 18:30 / 開演 19:00

鶴見  
古楽

2019年3月7日[木] (横浜市)

鶴見サルビアホール 3F音楽ホール

開場 18:30 / 開演 19:00

ticket

[pia.jp/t](http://pia.jp/t)  
チケット  
ぴあ  
0570-02-9999

◆(社)ヴィア・ガレリアにてお申し込み

[ tel ] 045-961-0813 [ mail ] info@viagalleria.or.jp

ホームページからのお申し込みは裏面をご参照ください

◆チケットぴあにてお申し込み

P コード : 135571 (ペア券は販売していません)

詳しいチケット購入方法は裏面▶



# 本場欧州で躍進中のコンビ、中丸まどか（バロック・ヴァイオリン）、 ワウター・ドゥコーニク（チェンバロ）、デュオ初来日デビュー。

文化庁・ベルギー政府奨学生としてブリュッセル王立音楽院でディプロマを獲得、2015ベルギー王室御前演奏の世界放映で注目を浴び、ベルギーを拠点に欧州各地で演奏し、コンサートミストレスやCD、テレビ、ラジオの収録などでも活躍中の中丸まどか。今回、自身もメンバーとして欧州各地で活躍するバロック室内オーケストラ・ヒルデブランド・コンソートの音楽監督兼作曲家のワウター・ドゥコーニク氏をチェンバリストに迎え、念願のデュオ初来日で、J.S.バッハ不朽の名作「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ」を再現。使用楽器は17世紀ヘンドリック・ヤコブス製作のオリジナルのバロックヴァイオリンと、同曲を作曲したケーテン時代にバッハが使っていたミヒャエル・ミートケ・モデルの複製チェンバロ（深町研太製作）。当時の演奏環境のもとで現代的な感覚に訴える鮮烈な演奏をお届けします。

「現代的感性の中に古典をよみがえらせる…まさにそれが私たちのしている事かもしれません。ある意味、我々が今その瞬間にその音楽を生きることで古典がよみがえってくるのかもしれない。」

中丸まどか 公式ウェブサイト <http://www.madokanakamaru.co>

ヒルデブランド・コンソート 公式ウェブサイト <https://www.hildebrandtconsort.org/>



## 中丸まどか（バロック・ヴァイオリン）

1981年生まれ。3歳よりヴァイオリンを始め、瞬く間にその楽器の虜となる。幼少よりピアニストの姉である中丸ちひろや仲間たちと舞台を共にし、17世紀から20世紀までにわたる幅広いレパートリーを学び楽しむ。在学中の2005年にはライブツィビ室内管弦楽団来日の際にメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲をソリストとして共演し、絶賛を博す。東京芸術大学器楽科ヴァイオリン専攻を卒業後、2006年に同大学院古楽科バロックヴァイオリン専攻を修了。同年、文化庁及びベルギー政府の奨学金を受けベルギーに渡る。ブリュッセル王立音楽院にてシギスヴァルト・クイケンに学び、2009年にディプロマを得てバロックヴァイオリン修士課程を修了する。現在はベルギーを拠点とし、コンサートミストレスとしてコンサートやCDレコーディング、テレビ放送、ラジオの収録など多数のオーケストラに招かれるほか、室内楽やソロでも活躍している。弦楽器の編成でオルガンの精神をブクステフーデからシューマンまで広範なレパートリーを表現するヒルデブランド・コンソートとの共演や、ベルギー発子ども向けバッハの音楽劇でのソロヴァイオリン、日本を代表するオリエントミストはたりえ氏と無伴奏ヴァイオリンによるコラボレーションなど、数々のユニークな活動をベルギーのみならずオランダ、フランス、ドイツなどヨーロッパ各地や日本で行っている。また長年培った経験を活かし、フランスのコンセルヴァトワールでヴァイオリンの歴史についての講義やマスタークラスをするなど、後進との交流と指導も積極的に行っている。



## ワウター・ドゥコーニク（チェンバロ）

1981年生まれ。オルガン、チェンバロ、即興演奏、そして自らオルガン曲をアレンジした作品を演奏するなどして国際的に活躍している。オルガンをベルギーのレメンス音楽大学で学び、榮譽付きディプロマを得て卒業。現在は1714年ベンセラールによって製作されたオルガンを所有する聖ゲルトロド教会でオルガニストを努めている。特筆すべきは作曲のスキルで、ソロオルガン、オーケストラ、歌、室内楽などのために主に編曲をベースとした作品を生み出し、オリジナルの作曲家の精神を忠実に受け継ぎながら優れた技量でアレンジされたその作品は演奏者、観客両者に新鮮な喜びを与えるものとして高く評価されている。またルネサンスからバロック、ロマン派までの広範なレパートリーを誇るヒルデブランド・コンソートの音楽監督を努め 「[Bach]〜編曲の芸術〜」「ザ・スピリット・オブ・ヘンデル」「メンデルスゾーンと紅茶を シューマンとコーヒーはいかが」「バッハとルターに捧げる大ミサ 1739」の各プロジェクトが大絶賛を博した。コンサートシリーズ「バッハ・イン・ルーヴァン」の設立者であり、ヒルデブランド・コンソートによるバッハのカンタータや受難曲、器楽曲の演奏会を定期的に行い、また自らが監督となって「聖ゲルトロド国際オルガンフェスティバル」を企画している。また指揮者としても合唱団を長年指導した経験を糧とし、シュツツからフォーレまでを指揮する幅広い活動をしている。ハレ市セルヴェ音楽学校、聖アガタベルヘム音楽学校、レニック市ベーター・ブワ音楽学校でオルガン、チェンバロの指導を務めている。

ヴィアガレリア WEB 申し込み、ペア券申し込み

[ 3/06(水) 演奏会申込画面 ]  
<https://goo.gl/fKTA8w>

3/6



3/7



[ 3/07(木) 演奏会申込画面 ]  
<https://goo.gl/riubTQ>



(株)ギタルラ 東京古典楽器センター(東京 目白) TEL.03-3952-5515